

PROFILE OF SENDAI CITY



あらまし

仙台市の礎は1601(慶長6)年、初代仙台藩主・伊達政宗公によって築かれた城下町にさかのぼります。時代の変化とともに、街並みが変わった今もなお、城下町の町割の名残や寺社などに、当時の面影を見ることができます。

1889(明治22)年、市制施行によって「仙台市」が誕生しました。その前後から、軍事・司法・運輸・通信などの国の機関や、東北帝国大学(現東北大学)をはじめとする重要な教育機関が続々と設置され、仙台は東北を代表する近代都市へと大きく発展していきます。「学都仙台」と呼ばれるようになったのは、この頃からです。

また、江戸時代から受け継がれてきた屋敷林や社林の豊かな緑に由来して、「杜の都」と称されるようにもなりました。その豊かな緑は1945(昭和20)年の仙台空襲によって失われてしまいましたが、戦災復興事業で街路樹が整備され、「杜の都」は復活しました。現在、定禅寺通・青葉通などのケヤキ並木や広瀬川に沿って連なる木々が、四季折々に街を彩ります。

仙台市は数度の合併を経ながら市域を拡大し、平成元年には東北初の政令指定都市となり、平成11年には人口100万人を突破しました。平成23年3月11日に起きた東日本大震災を乗り越え、東北を牽引する活力のあるまちづくりを進めています。

仙台市へようこそ！
新生活を始める前に、まずは市の基本情報をチェックしましょう！

仙台市のきほん

総面積
786.35km²

 世帯数
540,158世帯

 人口
1,094,520人

 男性人口
529,539人

 女性人口
564,981人
(令和5年4月現在)

市のシンボル

市の紋章

伊達家の紋章である三ツ引両(縦引両)から考案されたもので、仙台市の「仙」の字を図案化しています。



市の花
ハギ



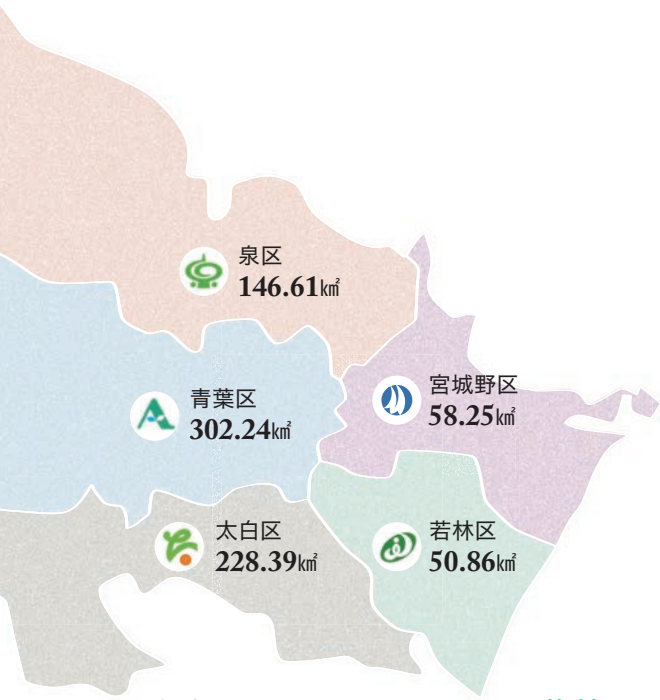
市の木
ケヤキ



市の虫
スズムシ



市の鳥
カッコウ



泉区



地下鉄泉中央駅周辺は、仙台銀行ホールイ

ズミティ 21やユアテックスタジアム仙台など、文化・スポーツ施設等が集まっています。「北部地域」では産業の新しい展開を先導する拠点として研究所等の集積が図られているほか、商業施設も進出しています。また、「西部地域」は歴史・文化などの地域資源が多く存在し、稲作を中心とした農業が営まれています。

青葉区



5区の中で人口、面積ともに最も大きく、商業、行政、交通などの東北を支える多様な都市機能が集積する「都心地域」、それを取り囲むように広がる「都心周辺地域」、郊外住宅団地が連なる「丘陵住宅地域」、JR愛子駅周辺などを中心に商業機能等の整備が進む「愛子及び周辺地域」、雄大な自然と里山・田園が広がる「西部山岳丘陵地帯」からなっています。

太白区



仙台空港が近く、地下鉄の始発駅を有する太白区は、交通の要衝として一層の発展が期待されているエリアです。市

南部の中心地である「南部拠点地域」、宅地化が進む平野部とその背後に優良農地が広がる「名取川右岸地域」、丘陵部に住宅団地が連なる「丘陵住宅地域」、山あいの緑と田園の残る「太白山周辺地域」、そして自然と温泉に恵まれた「秋保地域」からなっています。

若林区



建物の高層化や集合住宅の建設による人口の流入が進みながらも歴史的資産を残す「都心及び周辺地域」、

地下鉄東西線沿線の駅ごとに異なるまちの個性が広がる「地下鉄沿線地域」、その南側からさらに仙台バイパスを挟んで集合住宅などの住宅地が広がる「郊外住宅地域」、そして太平洋に面した広大な「田園・海浜地域」からなっています。

宮城野区



仙台駅東口から仙台塩釜港にかけて広がる区域で、都市機能の一部を担う「都心及び周辺地域」、県民の

森などの自然環境や新しい住宅地が形成されつつある「北部住宅地域」、住宅地が広がる「丘陵住宅地域」、産業・物流の拠点「東部沿岸・産業地域」からなっています。JR東北本線、JR仙石線が区内を横断し、その沿線で市街地形成が進んでいます。

仙台市へのアクセス

新幹線 Shinkansen (Bullet Train)

東京 Tokyo	1時間30分 1 hour 30 minutes	仙台 Sendai
秋田 Akita	2時間7分 2 hours 7 minutes	仙台 Sendai
新函館北斗 Shin-Hakodate-Hokuto	2時間27分 2 hours 27 minutes	仙台 Sendai

